

お祝いの言葉

桜の花びらが、そよ風に運ばれ、春の息吹に、心和らぐ季節となりました。

今年は、3月末の寒波のおかげで、グラウンドに降りる階段の脇の桜が、皆さんの入学を長く待ち続けたように、やっと先週満開となりました。入学を祝福するかの如く、まだ花が残っています。その桜の花の姿は、これからの皆さんの高校生活を象徴するように、雄大な大山を背景に、美しく凛と咲き誇っております。

ただ、残念ながら今回、新型コロナウイルスまん延の影響で、皆様にとって大切な入学式をこのように規模を縮小して行わなければならないことを皆様、保護者の方々には大変申し訳なく思っております。皆様の命、健康を守るためであるをご理解ください。

このような時だからこそ、新しい出会いを大切に、思いやりを持って、皆さんで気持ちを一つにして、新しく始まる高校生活を前向きに送れるよう、見えない敵と戦い、この重大局面を乗り切っていただきたいと思っております。

ただいま入学を許可いたしました、265名の皆さん、改めまして入学おめでとうございます。保護者・ご家族の皆様の支えがあったからこそ、今があると思っております。心よりお慶び申し上げます。

本校は、地域根差し、地域の方々から愛されながら、歴史と伝統を引き継ぎ発展してきた学校であります。生徒、職員、同窓生、PTA、地域の方々など、伊勢原高校にかかわるすべての方々を伊勢原ファミリーと呼ばせていただいております。その新しい仲間の一員として、今日から伊勢原高校の生活が始まります。すぐに臨時休業となり、不安はあるかもしれませんが、大きな夢や希望で胸が膨らんでいることと思います。学習については、この期間を逆に利用して、「自学自習」の習慣、やらされている勉強ではなく自分の将来に向けて、これからの社会で求められている「主体的な学び」を身につけてほしいと思っております。その補助的な学習ツールとして今年からCMで聞いたことがあると思っておりますが「スタディサプリ」を導入しました。早速、中学校でつまづいていた部分の復習や、高校の授業の予習に活用し、家庭学習期間で「自ら学ぶ力」をつけてください。

皆さんが、高校3年生になると18歳で成人となります。高校に在籍しながら大人となるということです。この3年間で、いい大人になってください。そのために必要なことを1つ話します。

「アサーション」です。「アサーション」とは=さわやかな自己主張と訳します。この言葉を覚えてください。保健室の壁にポスターが貼ってあるので通った時に読んでください。

いい大人の条件の1つに、「自分の考えを自己主張（アウトプット）することができる人」があります。皆さんは中学校時代、いいたいことがいえなくてストレスがたまったり、悩んだことはありませんか。また、逆に言いすぎて、人間関係を悪くしたことはありませんか。アウトプットするときのポイントがあります。自己主張の仕方ですね。

こんな経験はありませんか。ファミレスのガストで「和風ハンバーグ」注文をしたのに、少し時間がかかって店員が持ってきたものが「チーズ in ハンバーグ」でした。

あなたならどうしますか。考えて、次の3つから選んでみてください。

①黙って食べる。②店員に注文が違う、こんなの頼んでないとキレル。③冷静に店員に自分が頼んだものが違うことを伝え、とり変えてもらう。またはその上で納得して食べる。

皆さんはどうですか。では、何番が「アサーション」でしょうか。

①は、仕方ないからいいやと食べてしまう。(自己主張していませんね) =Non アサーションといいます。(非自己主張です)

②は、待たされたこともあり、逆切れ。自分のストレスを相手にぶつけてしまいましたね。=アグレッシブといいます。(攻撃的主張です)

③は、相手の立場も配慮して、自分の言いたいことをしっかり伝えることができます。大事ですね。そうです。これがアサーションです。

(日本では、昔から奥ゆかしさを大切にする文化があり、自己主張することは日本人が得意ではないことです)

②のアグレッシブ(攻撃的主張)では態度に出すことも同じです。意図的に無視する。わざと顔や態度にだすなど。相手にとっては嫌な思いをします。言いたいことは、しっかりとていねいに伝えることが大切です。しかし、相手を思いやりすぎて、相手に合わせてばかりいると心が疲れます。恋愛なんかでは、多いのでしょうか。

要するに、「黙っていて主張しないこと」も、「攻撃的な主張をすること」もよくないことなんです。アサーションができないと、子供のまま、いい大人にはなりませんね。

やさしさ、思いやりをもち、相手も尊重しつつ、自分の気持ちを主張する「アサーション」を日常生活でトレーニングし、3年間でいい大人になりましょう。

今年から、インクルーシブ教育がスタートします。在県外人特別募集生徒もいます。違いや特性を個性としてとらえ、ひとり一人違うのが当たり前、思いやりを持ち、共生教育の実現を目指します。

今年1年間、日常生活で嫌な思いをする生徒が「0」になることを祈っております。

最後に東京オリンピックが延期されることを半年前、1年前に誰が予想できたでしょうか。今日、「緊急事態宣言」が発令されます。まだまだ、新型コロナウイルスとの戦いは続くと思いますが、「密集・密閉・密接」の3密をさけ、責任ある行動をとり、自分の身を守ってください。

来週はどうなるかわかりません。不確定で、常識を疑わなくてはいけない時代だからこそ、自分の考えをしっかりと持ち、自分自身で答えのない問題に前向きに取り組んでいけるような人間になってください。

私たち職員一同、応援します。

265名の皆さん、この「伊勢原高校」で何を学び、どのような未来を描くのか、今日はそのスタートであります。「感動する心」と「夢みる力」を持ち、伊勢原ファミリーの一員として、一緒にがんばりましょう。

今日ここで、皆様に出会えたことに感謝し、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和2年4月7日

神奈川県立伊勢原高等学校長 広瀬邦彦